
NATIONAL
DIET
LIBRARY
MONTHLY
BULLETIN
2024.5

国立国会図書館
月報



調べものに役立つ「調べ方のヒントや事例」

リサーチ・ナビ

レファレンス協同データベース

757号 2024年5月

国立
国会
図書館
月報

NO. 757
MAY 2024

CONTENTS

- 1 子供との約束を破る勿れ
― 『子供の躰け方秘訣百ヶ條』 ―
今月の一冊 国立国会図書館の蔵書から
- 5 調べものに役立つ「調べ方のヒントや事例」
- 6 リサーチ・ナビ
- 16 レファレンス協同データベース
- 24 館内スコープ
国際政策セミナーをぎゅっと一冊に
- 25 本屋にない本
『水戸芸術館パイプオルガン活動記録集
1990-2021 つくる、かなでる、ひ
ろがる』
- 26 NDL Topics



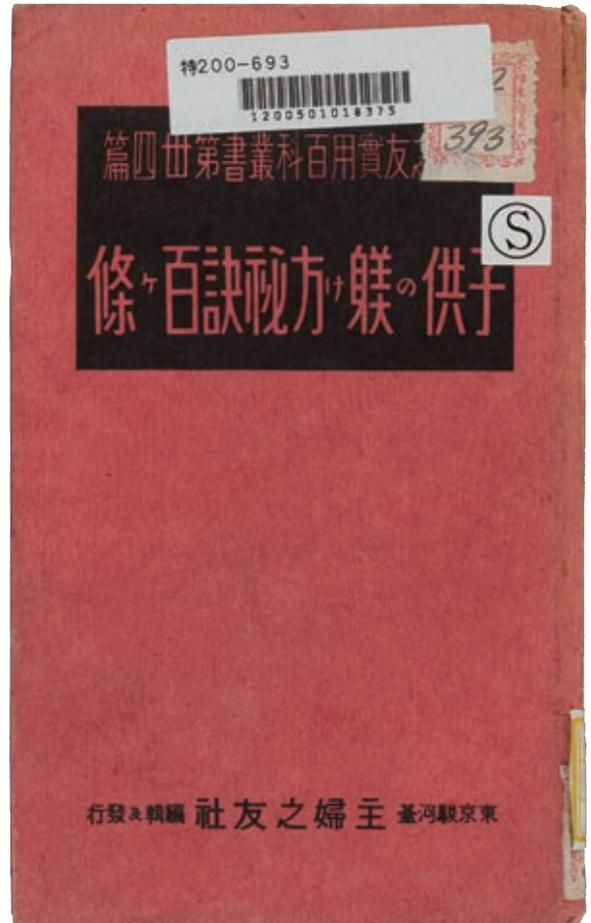
表紙 : Boys' Festival yearly kept on the 5th of May
Famous scenes in Japan. Yokohama: K.Tamamura,
[19--]. 31 x 39 cm
<https://dl.ndl.go.jp/pid/1675810/1/67>

子供との約束を破る勿れ —『子供の躰け方秘訣百ヶ條』—

青木 太一



第1条「世の落伍者」など表現が強烈な箇所があるのも本書の特徴です。



表紙

子供の躰け方秘訣百ヶ條

主婦之友社 昭和3 102p; 18cm
<https://dl.ndl.go.jp/pid/1027045> (モノクロ画像)

子供とは軽はずみに約束をしてはいけない。約束はどんなことでも必ず実行すること。

これは昭和3（1928）年3月に主婦之友社から刊行された『子供の躰け方秘訣百ヶ條』の第1条「子供との約束を破る勿れ」の要点です。本条では、親が実行できるかを考慮せず、軽々に子供と約束をしてしまうことを戒めます。そして約束を破られた子供はそのことを生涯忘れず、大人になると平気で約束を破る「世の落伍者」となるとされます。

『子供の躰け方秘訣百ヶ條』は『主婦之友實用百科叢書』の一冊で、石川武美たけよしの叢書刊行の辞によれば、『主婦之友』と同様に婦人と家庭の生活に不可欠な実際の知識を提供する目的で編集されました。

全100条の指南は子供の生活習慣や道徳的修養、精神的成長に関するものなど多岐にわたり、奇数条の頁には挿絵が付されています。また、本書の性格から当然とはいえ、躰における母親の役割が強調されているのも特徴です。

それでは、内容をかいつまんでご紹介しましょう。

親の言動に注意せよ



第三條 子供に悪き言葉を教ふる勿れ

「言葉は心の子供」といふ。その人の使ふ言葉で、その爲人がわかる。子供に悪き言葉を教へたが最期、それを改めさすためには、新しい言葉を教へるよりも、幾倍かの努力がいる。一旦覺えた悪い言葉は、悪いことを覺えるためにしか役に立たぬ。子供が言葉を覺える機會は、母の語るところを聴くにある。母の注意が大切。

(右) 第3条 母子の背後にいるオウムは、子供が母親の言葉を容易に真似てしまう姿(オウム返し)を強調しているように思われます。
 (左上) 第33条挿絵 母親への言及はないものの、挿絵から母親を念頭に置いているように見えます。
 (左下) 第69条挿絵 まずは母親自身が不平をこぼさないことが急務と説きます。

親の言動に注意せよ

子供は親の喋る言葉をよく真似ます。

「子供に悪き言葉を教ふる勿れ」(第3条)では子供に悪い言葉を一度教えると手遅れで、改めるには、新しい言葉を教えるよりも何倍もの努力が必要と説きます。

また、「子供の前で召使を叱る勿れ」(第33条)では、子供は親の態度を真似するので、子供の前の振る舞いに不用意なことがないよう注意を呼び掛けています。

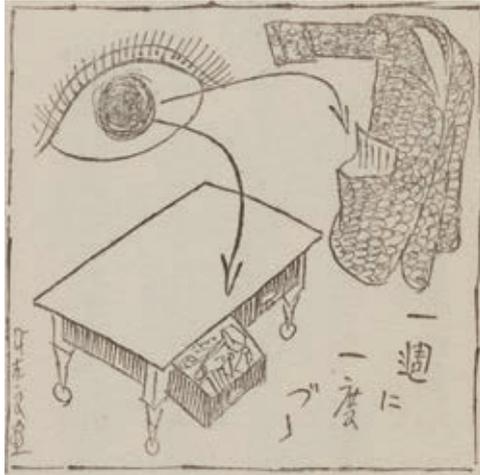
他にも、「子供に不平の習慣をつける勿れ」(第69条)では、母親の不平癖が子供に伝染することを注意します。

夫婦は同一歩調で子供に接すべし

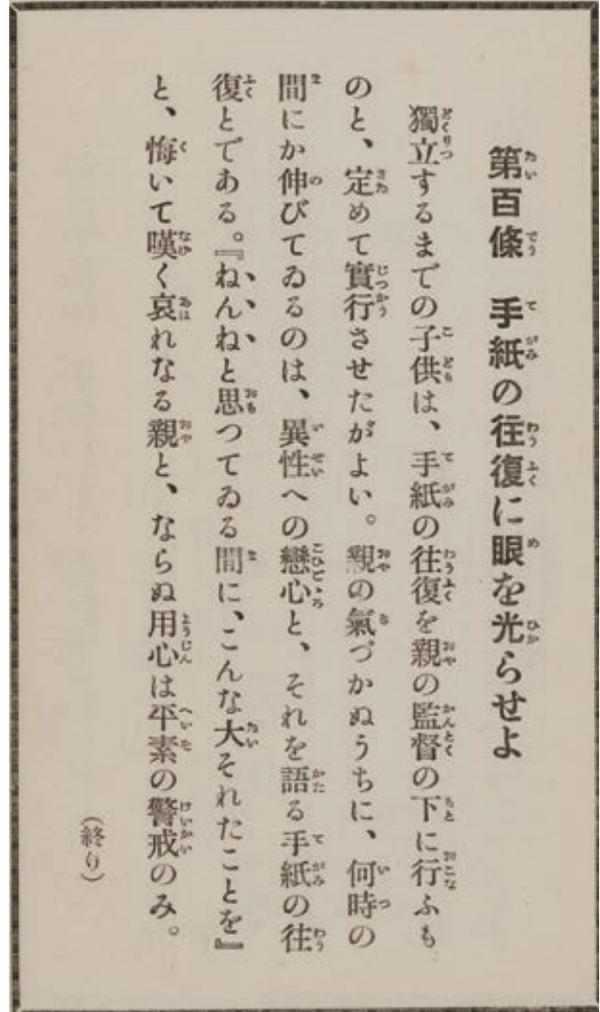
躰における母親の責務を繰り返す本書ですが、父親への言及も時折見られます。「父と母とが意見を異にすな」(第27条)はその一つで、母親が子供を叱るときに父親が子供を庇い、逆に父親が子供に教え諭すときに母親が邪魔することを禁じます。3頁右上の挿絵では、母親に叱られて父親にすがる子供の姿が描かれています。身に覚えのある方もいるのではないのでしょうか。

また、夫婦が共同歩調で教育に当たる重要

プライベートを監視せよ



(右) 第100条、(左) 第97条挿絵 親が机の引出からラブレターを発見し、その内容に驚愕する光景を想像してしまいます。



『子供の躾け方秘訣百ヶ條』をその一冊とする『主婦之友実用百科叢書』は大正15(1926)年から刊行され、昭和6(1931)年まで累計50冊が刊行されました。母体となる『主婦之友』は大正6(1917)年に創刊され、昭和9(1934)年には発行部数が100万部を突破した当時を代表する大衆婦人雑誌で、11巻11号(昭和2(1927)年11月)から12巻3号(昭和3(1928)年3月)までの5回にわたる連載記事「愛児の躾け方秘訣百ヶ條」をもとに『子供の躾け方秘訣百ヶ條』が出版されました。

下図は『主婦之友実用百科叢書』のラインナップの一部。いずれも国立国会図書館デジタルコレクションでインターネット公開されています。

主婦之友社編輯局編				
主婦之友実用百科叢書				
(第七分節)	(第六分節)	(第五分節)	(第四分節)	(第三分節)
夫婦和合の秘訣百ヶ條	池坊生花の生け方	犬の飼ひ方	民間療法四百種	良人選擇の秘訣百ヶ條

○参考文献
 木村涼子『〈主婦〉の誕生 婦人雑誌と女性たちの近代』吉川弘文館、2010 <当館請求記号 EF72-J334>
 主婦の友社社史編纂委員会編『主婦の友社の八十年』主婦の友社、1996 <当館請求記号 UE57-G20>

※原則、引用の旧字は新字に、旧かなづかいはママとした。

いかがでしたでしょうか。現代でも共感できる「育児あるある」や極端な躾の実践と受け取れるものなど様々でしたが、どれも平易で面白い内容となっています。

また、「手紙の往復に眼を光らせよ」(第100条)では文字通り、子供の手紙の往復は親の監督下で行うよう主張します。その背景には、親の知らない間に、異性への恋心が増長したり、ラブレターのやり取りが積み重なったりすることへの警戒心があります(現代に置き換えれば、親が子供のSNSを覗き見るといったところでしょうか)。「こんな大それたことを」と悲嘆しないよう日頃から警戒を訴えて本書を締めくくります。

調べものに役立つ「調べ方のヒントや事例」 ～リサーチ・ナビとレファレンス協同データベース～

今年1月にサービスを開始した「国立国会図書館サーチ」(略称：NDLサーチ)では、キーワード検索でヒットした資料と合わせて、「調べ方のヒントや事例」として調べものに役立つ情報を表示するようにしています。ここに表示される「リサーチ・ナビ」の記事や「レファレンス協同データベース」のデータを通じて、「知りたい」情報へ、より効率よく、幅広くアクセスできるようにサポートすることを目指しています。

それら二つのデータベースも、1月と2月にそれぞれリニューアルを実施しました。今回はリニューアルでの変更点を中心に、改めて両データベースについてご紹介します。



中略



リサーチ・ナビ

リサーチ・ナビは、調べものに役立つ情報を紹介する国立国会図書館の調べ案内です。これまでも内容やデザインに改良を加えつつ公開してきましたが、令和6（2024）年1月の「国立国会図書館サーチ」リニューアルに合わせ、リサーチ・ナビは「国立国会図書館サーチ」と統合され、装いを一新しました。今回の記事では、新たなリサーチ・ナビの特徴についてご説明します。

（利用者サービス部 サービス企画課）

資料と調べ方を一度に検索

新たなリサーチ・ナビでは国立国会図書館サーチを検索する主な目的である「資料を探すこと」と、密接に連携することができるようになりました。たとえば、各国の法令を調べている中で、キリマンジャロなどを有する東アフリカの国であるタンザニアの法令についても調べたいと考え、国立国会図書館サーチの検索キーワード入力欄に「タンザニア 法令」と入力してみます（図1）。令和6年4月現在では、検索結果として上の方に表示されるのは『捜査研究』『戸籍時報』といった雑誌の目次です。確かにこれらにもタンザニアの法令に関する何らかの情報は含まれているのでしようが、かなり限定された範囲を論じているようです。

ややピンとくるものがないな、と検索結果が表示されている画面を下にスクロールしていくと、検索結果一覧の次の「関連情報エリア」に、「調べ方のヒントや事例」



図1 国立国会図書館サーチでの「タンザニア 法令」の検索結果

資料を検索するのと同じ言葉で、リサーチ・ナビも同時に検索して、その結果を表示しています。
 ※なお、「調べ方のヒントや事例」を資料と合わせて検索するのは検索キーワード入力欄に言葉を入れた場合のみです。「タイトル」「著者・編者」欄などに入れた場合は資料だけを検索します。

という項目が現れます。ここに「国立国会図書館の調べ方案内」として「リサーチ・ナビ」の記事が表示されており、「タンザニア ■法令資料 ■議会資料」という文字列が目にとまります。これをクリックすると、タンザニアの法令についての調べ方が紹介されており、法令が掲載されているさまざまなウェブサイトへのリンクがあります。また、網羅的ではありませんが、紙媒体の法令資料を国立国会図書館が所蔵していることも分かります。最新の本会議録・法案へのリンクもあり、そこから審議過程などを調べることもできそうです（次頁図2）。

同様のことは、「相続税路線価」を探したり、「○○県 写真集」のような資料を探したりする場合にも有効です。

相続税路線価は、『路線価図・評価倍率表』というタイトルで所蔵されていることが多く、「相続税路線価」という言葉を国立国会図書館サーチに入力しても該当する



図2 リサーチ・ナビ「タンザニア」 <https://ndlsearch.ndl.go.jp/rnavi/politics/Tanzania>

資料をうまく探すことができます。しかし、関連情報エリアにある「調べ方のヒントや事例」部分にはダイレクトに「相続税路線価の調べ方」という項目が表示され、探している資料が検索結果に見つからないと画面をスクロールしていくことで自然と目に入るようになっていきます(図3)。

特定の県や市町村の風景を写した写真集は、必ずしも「〇〇県の写真集」というタイトルではありませんし、逆に「〇〇県立××高校百年史 写真集編」などまでヒットすることも考えられます。この場合も関連情報エリアに「〇〇県の写真集」というリサーチ・ナビ記事が表示されます。

特定の資料種別に対応する調べ方

簡易検索画面から「絞り込み条件」を展開したり、詳細検索画面に移動したりすると、検索対象の「資料種別」を限定することができます。



中略



で、倍率方式での評価に用いられるのが評価倍率です。

相続税路線価および評価倍率を調べるための資料には、以下のようなものがあります。

【 】内は当該請求記号です。請求記号が記載されていないものは、版によって請求記号が異なります。国立国会図書館サーチでタイトルを入力して検索してください。

1. 国立国会図書館デジタルコレクションで調べる

当館所蔵の昭和28（1953）年分から平成7（1995）年頃までの路線価図・評価倍率表は、国立国会図書館デジタルコレクション[※]でインターネット公開しています。ただし、路線価方式が始まったのは昭和30（1955）年からです。昭和28（1953）年および昭和29年（1954）年分の「相続税財産評価基準表」には路線価が掲載されていません。また、古い時代においては路線価設定地域が現在よりも少なく、路線価方式で現に評価されている土地であっても、過去においては倍率方式で評価されている場合があるので、ご注意ください。

デジタルコレクションで公開している路線価図・評価倍率表リスト

国税局名をクリックするとPDFファイルが開きます。「URL」列が、デジタルコレクションで資料を開覧するためのURLです。 ※ブラウザ内ではChrome推奨

図3 国立国会図書館サーチの検索結果からリサーチ・ナビへの遷移
 (上) 国立国会図書館サーチでの「相続税路線価」の検索結果
 (下) リサーチ・ナビ「相続税路線価の調べ方」 https://ndlsearch.ndl.go.jp/rnavi/business/post_102052



図 4-1 国立国会図書館サーチの簡易検索画面で絞り込み条件を展開



図 4-2 資料種別の「規格・テクニカルレポート類」にチェックを入れた上で国立国会図書館サーチで「船舶 コンテナ」を検索

「博士論文」「規格・テクニカルレポート類」のほか、「新聞」「地図」「楽譜」「雑誌記事等」の資料種別の一つだけチェックを入れ、検索キーワード入力欄に言葉を入れて検索した際に、関連する記事やその資料種別の調べ方を案内する記事を表示します。複数の資料種別にチェックを入れたり、「タイトル」「著者・编者」等の欄に言葉を入れたりした際は、表示されません。



図 4-3 国立国会図書館サーチでの「船舶 コンテナ」の検索結果

きます(図 4-2)。探している資料の種類が分かっている場合に便利ですが、「博士論文」や「規格・テクニカルレポート類」など、調べ方にコツのいる資料種別もあります。これらのうちどれか一つにチェックを入れて検索した場合、キーワードに関連する記事だけでなく、その資料種別の調べ方を案内する特定の記事が自動的に「調べ方のヒントや事例」に表示されるようにする工夫も行っています(図 4-3)。

書誌詳細画面から調べ方の案内へ

検索結果一覧から、個別の資料に辿り着いたあとにも、リサーチナビの記事へのリンクを書誌詳細画面の「関連資料」部分に表示する機能を設けています。こちらは当館職員が調べ方のヒントになりそうな記事を選んで個別に設定する仕組みであるため、全ての資料で表示されるわけではありません。どの資料にリサーチナビのど



図 5 国立国会図書館サーチでの「朝日新聞」(当館請求記号 YB-2) の書誌詳細画面

の記事を表示させればよいかを判断するのはやや難しいため、まだ多くの資料に設定できているとは言えませんが、たとえばいくつかの新聞の書誌詳細画面にその新聞社の記事データベースの使い方を表示して、別な探し方があることを案内しています(図5)。

このように、今回のリニューアルによって「調べ方を調べること」が「資料を探すこと」に密接につながり、資料を探す過程でよりよい調べ方に気がつきやすくなりました。

リサーチ・ナビ自体の変更点

ここまで、国立国会図書館サーチで資料を探すなかでリサーチ・ナビの情報はどう役立つかをみてきました。リサーチ・ナビには独自のトップ画面や検索ボックスがあり、カテゴリを辿る記事のブラウジングや、リサーチ・ナビの記事に絞った検索を行うことが可能です。ここからは、リサーチ・ナビ自体の変更点についてご説明します。

旧



図6 リニューアル前のリサーチ・ナビのトップページ
 国立国会図書館インターネット資料収集保存事業（WARP）
 （2023年12月22日時点）
<https://warp.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/13128102/rnavi.ndl.go.jp/jp/>

新



図7 リニューアル後のリサーチ・ナビのトップページ <https://ndlsearch.ndl.go.jp/rnavi>

カテゴリを辿りやすい
デザイン

これまでのトップページは図6のとおりでしたが、現在は図7のデザインです。大きな違いは、リニューアル前は「主題から調べる」「資料の種類から調べる」というリンクから辿る必要があったことを改め、トップページで全てのカテゴリを一覧できるようにしたことです。これによって、多様なカテゴリがあることに気付きやすくなり、これまでのリサーチ・ナビに比べてカテゴリを辿って調べ方を探すことが容易になりました。

各記事のページ（図8）では、画面の左側に、各記事の見出しをもとに目次が自動的に生成される仕組みを導入しました。この目次は記事本文をスクロールしても常に表示されるので、記事の全体像が把握しやすくなっています。

また、その記事の上位のカテゴリは何かを確認し、上位カテゴリの記事一覧に移動しやすいように、

聴覚障害者等向け資料の探し方

▲ Table of contents

- 1.聴覚障害者等向け資料とは
- 2.国立国会図書館のWebサービスで探す
 - 2-1.国立国会図書館サーチで探す
 - 2-2.みなサーチで探す
- 3.聴覚障害者情報提供施設について
- 4.文字資料について
 - 4-1.手話に関する資料
 - 4-2.LLブック

January 26th, 2024 更新
サービス企画課 作成

主に国立国会図書館で所蔵している、聴覚障害者等向け資料の探し方をご案内します。

1.聴覚障害者等向け資料とは

耳が聞こえない・聞こえづらい方にとって、映像資料の「音」がもつ情報をそのままの形態で受け取ることが困難です。
洋面の字幕等とは異なり、誰の言葉であるかも表記する・効果音や音楽等の情報も文字化するなどをしている字幕を、「バリアフリー字幕」と呼びます。
また、ニュース番組等では「手話映像」が挿入されることもあります。
これらを有する映像資料を、この記事では「聴覚障害者等向け資料」と呼びます。

2.国立国会図書館のWebサービスで探す

国立国会図書館のWebサービスである「国立国会図書館サーチ」「みなサーチ」では、「バリアフリー字幕」を有する聴覚障害者等向け資料を探すことができます。
2-1、2-2の方法を参考にしてください。
ただし、実際には「バリアフリー字幕」を有していても、確実に2-1、2-2の方法でヒットするとは限らず、字幕の存在が書誌情報に含まれていない資料は検索できません。最終的には、視聴したい資料を実際に確認する必要がある場合があります。

中略

4.文字資料について

ここまで主に映像資料について「聴覚障害者等向け資料」の探し方をご紹介しましたが、先天性の聴覚障害等で「日本手話」等が第一言語である方などは、文字資料について「日本語」が第一言語ではないことに配慮が必要な場合もあります。
文字資料を探す場合は、以下も参考にしてみてください。

4-1.手話に関する資料

NDC（日本十進分類法）10版では、「801.92」（言語としての手話）という分類があります。
国立国会図書館サーチの詳細検索で、「NDC」の欄に「801.92」と入力して検索することができます。

バリアフリー資料の網羅的な目録は乏しいとされていますが、野口武悟監修『図書館のためのバリアフリー資料目録：大活字本・オーディオブックを中心に』日外アソシエーツ,2022.2 には、「手話」を添えた資料の目録が掲載されています。

4-2.LLブック

図8 リサーチ・ナビ「聴覚障害者等向け資料の探し方」 <https://ndlsearch.ndl.go.jp/rnavi/plan/hearing>

記事の上部にパンくずリストを表示しています。従来は複数カテゴリに属する記事でもひとつのパンくずリストしか表示できませんでしたが、現在は複数あれば全てのパンくずリストを表示して、それぞれのカテゴリの記事一覧に移動できるようになりました。

リサーチ・ナビでの検索

リサーチ・ナビの検索ボックスでの検索結果は、国立国会図書館サーチとは逆に、リサーチ・ナビの記事の検索結果が画面の上の方に表示され、記事の下に、同じキーワードで国立国会図書館・全国の図書館の資料を検索した結果と全国の図書館の調べもの事例（レファレンス協同データベース）を検索した結果が表示されます。国立国会図書館サーチの検索結果とは逆に、調べ方案内にめばしいものがない場合、資料の存在や全国の図書館の事例に気付きやすいと言えます。

西 竹 一 (にし たけいち)
1902～1945

軍人。1932年のロサンゼルスオリンピック馬術競技（障害飛越）金メダリスト。

右の写真は高さ2m10cmの障害を飛越す西とアイリッシュボーイ号。吉橋戒三『西とウラヌス 西竹一大佐伝』フジ印刷工芸社,1969
<https://dl.ndl.go.jp/pid/12191185/1/5>



リサーチ・ナビを検索

西竹一

該当するページはありませんでした

資料を検索

国立国会図書館・全国の図書館の資料

- 栄光の金メダリスト西竹一とオリンピック馬術 榎岸誠馬記念公苑学芸部 編
- 西とウラヌス・西竹一大佐伝 吉橋戒三 著
- 西竹一とオリンピック馬術 榎岸誠馬記念公苑学芸部 編
- 栄光の金メダリスト西竹一とオリンピック馬術 榎岸誠馬記念公苑学芸部
- 西とウラヌス・西竹一大佐伝 吉橋戒三 著 西竹一の肖像あり

もっと見る

全国の図書館の調べ方を検索

全国の図書館の調べもの事例 レファレンス協同データベース

● [レファレンス事例] 下記人物に関する資料 1 榎岸可出席で1932年ロサンゼルスオリンピックに男子飛込で出場し、6位の成績をおさめた小林一男選手。 ②小林一男について、過去に日本体育協会に問い合わせ。 北海道立図書館 11240575部 1932年ロサンゼルス大会馬術西竹一、城戸俊三について記述あり。 2 武田豊選手については次

レファレンス協同データベースを検索 (1件)

続ける

図9 リサーチ・ナビでの「西竹一」の検索結果

たとえば「西竹一」と検索した場合、「西竹一について調べるには」というリサーチ・ナビの記事はありませんが、西竹一について書かれた資料や、全国の図書館の調べもの事例はあるため、下にスクロールしていくことでそれらに気付くことができます(図9)。

なお、リサーチ・ナビのトップページにある検索ボックスのほかに、「テーマ別検索」という、主題を絞った検索ができるコンテンツがあります(図10)。政治の分野で活躍した日本人を調べる「近代日本政治関係人物文献目録」や、冒頭の例に挙げた「タンザニア 法令」を検索する場合に有益そうな、「外国法令邦訳書誌データベース(β版)」というコンテンツ(図11)もあります。調べたいテーマ次第では、これらもご活用いただけます。

以上のように、新しいリサーチ・ナビは、国立国会図書館サーチで



図 10 リサーチ・ナビ「テーマ別検索」 <https://ndlsearch.ndl.go.jp/rnavi/db>



図 11 外国法令邦訳書誌データベース (β版) での「タンザニア 憲法」の検索結果



リサーチ・ナビ
<https://ndlsearch.ndl.go.jp/rnavi>

の資料の検索とより密接に連携し、資料が見つかりにくい場合には調べ方案内の存在に、調べ方が見つかりにくい場合には資料の存在に、自然に気付きやすいよう配置や表示に工夫をしています。国立国会図書館サーチで資料や情報を探す中で、リサーチ・ナビも、いろいろ活用ください。

レファレンス協同データベース

令和6（2024）年2月19日、レファレンス協同データベースをリニューアルしました。

レファレンス協同データベースとは、国立国会図書館が全国の図書館等と協同で構築しているデータベースで、図書館等（参加館（次頁参照））で日々行っているレファレンスサービス（情報や資料に関する調べ物のお手伝いをするサービス）の記録、図書館を活用した調べ方の案内などを、データベースに登録・蓄積し、インターネットを通じて提供しているものです。全国の多数の図書館等にご参加いただき、令和6年3月末現在で約32万件のデータが登録され、その数は更に増え続けています。

レファレンス協同データベースには、4種類のデータが登録されています。参加館で行われたレファレンスサービスの記録である「レファレンス事例」、特定のテーマやトピックに関する情報源の探し方をまとめた「調べ方マニュアル」、参加館が所蔵する特色ある資料群に関する情報である「特別コレクション」、参加館の連絡先やサービスの内容などの情報をまとめた「参加館プロフィール」の4種類です。

また、令和6年1月にリニューアルした国立国会図書館サーチでは、文献調査に活用できるよう、タイトルやキーワードなどによる検索結果に、関連する調べものに役立つ情報を併せて表示する機能が追加されています。検索結果一覧画面の下部に設けられた「調べ方のヒントや事例」エリアに、レファレンス協同データベースに蓄積された全国の図書館等のレファレンス事例、調べ方マニュアル、特別コレクションのうち、検索条件に関連するデータが表示され（図1）、求める情報への幅広いアクセスをサポートしています。

この記事では、今回のリニューアルによって新しくなった点を中心に、レファレンス協同データベースの概略をご紹介します。

（関西館図書館協力課）



図1 国立国会図書館サーチの検索結果一覧画面の一部。「調べ方のヒントや事例」の中の「全国の図書館の調べもの事例」として、検索キーワードに関連するレファレンス協同データベースのデータが表示されている。



レファレンス協同データベースイメージキャラクター
れはっち



レファレンス協同データベースの参加館とは

レファレンス協同データベースは、国立国会図書館が、全国の公共図書館、大学図書館、学校図書館、専門図書館といった様々な館種・規模の図書館等と協同で構築しています。事業に参加する機関を「参加館」と呼び、その数は令和6年3月末時点で925館となっています。

The screenshot shows the 'レファレンス協同データベース' (Collaborative Reference Database) website. At the top, there is a search bar with the text 'データを探す' and buttons for '検索', 'ヘルプ', and 'ログイン'. Below the search bar, there are navigation links: '> 事業について', '> 関係者の方へ', and '> 参考情報'. The main content area is titled '参加館一覧' (List of Participating Libraries). It features a filter section with two radio buttons: '館種別一覧を表示' (selected) and '都道府県別一覧を表示'. Below the filter, there is a dropdown menu for '館種別絞り込み' and buttons for '絞り込み' and '絞り込み解除'. The main list shows a table of libraries with their names and a 'データ一覧' button for each. The list is numbered 1 through 925. The first five items are: 1. 国立国会図書館支那国土地交通省図書館北海道開発局分館, 2. 北海道立図書館, 3. 札幌市中央図書館, 4. 市立小樽図書館, 5. 旭川市中央図書館. The list continues with items 915 through 925, including 鹿児島純心女子短期大学図書館, 沖縄県立図書館, 沖縄市立図書館, 宮古島市立図書館, 浦添市立図書館, 那覇市立中央図書館, 那覇市文化情報センター, 琉球大学附属図書館, 沖縄県立看護大学附属図書館, 沖縄国際大学図書館, and 沖縄大学 図書館. At the bottom of the screenshot, there are navigation links: '> レファ協トップページ', '事業について', '関係者の方へ', and '参考情報'.

レファレンス協同データベース参加館一覧

レファレンス協同データベース事業への参加を希望する館の方へ

レファレンス協同データベースでは、データの公開範囲を以下の3種類から選択できます。

- ・ 一般公開：インターネット上で、どなたでも閲覧可能
- ・ 参加館公開：レファレンス協同データベース参加館のみ閲覧可能
- ・ 自館のみ参照：そのデータを登録した図書館の職員のみ閲覧可能

本事業に参加すると、参加館公開のデータを閲覧したり、自館のみ参照のデータを登録することで、自館専用のレファレンス事例管理システムとして活用したりすることができます。

事業への参加に関する詳しい情報は、レファレンス協同データベース「事業への参加」ページをご覧ください。



「事業への参加」ページ

レスポンシブデザイン・グローバルナビゲーションエリアの導入

リニューアル後のレファレンス協同データベースの画面は、レスポンシブデザインを採用しました。これにより、スマートフォンなど画面の小さい端末でアクセスした場合には、画面サイズに合わせたレイアウトに自動的に切り替わります（図2）。また、ウェブサイト内のページを「事業について」「関係者の方へ」「参考情報」の三つのカテゴリに整理し、全てのページの画面下部にグローバルナビゲーションエリア（図3）を設けることで、求める情報へこれまで以上にスムーズにアクセスできるようにしました。



図2 トップページ（左：PC画面、右：スマートフォン画面）

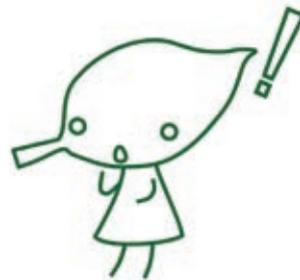


図3 グローバルナビゲーションエリア

検索結果一覧表示画面の視認性向上

検索した結果の一覧表示画面（図4）では、各データ間の余白を十分に確保して視認性を向上させるとともに、そのデータを作成した図書館名や更新日が一目でわかるようなレイアウトにすることで、多くのデータがヒットした場合でも、目的のデータを探しやすくしました。

The screenshot displays a search results interface. On the left, there are filters for 'NDC' (with categories like 0. 総記, 1. 哲学, etc.) and '調査種別' (with categories like 文献紹介, 事実調査, etc.). The main content area shows a list of search results, each with a library name, creation date, and update date. For example, '京都市図書館' (Kyoto City Library) has a creation date of 2015/10/31 and an update date of 2015/12/11. Below the list, there are detailed views for specific items, including questions and answers related to historical photographs and printing techniques.

図4 検索結果一覧画面

データ詳細画面のレイアウト変更

レファレンス協同データベースに蓄積された4種類のデータのうち、最も件数が多いのは、図書館等で利用者の方から寄せられた質問にどのように回答したかを記録した「レファレンス事例」で、全体の9割以上を占めています。「レファレンス事例」のデータ詳細画面(図5)では、主要な項目である「質問」と「回答」を先頭に配置し、他の項目よりも目立つようにしました。また、興味深いデータを見つけたときなど、他の方とデータを共有する際に活用できる転記用URLと各種SNS連携ボタンは、データの下部にまとめて配置しています。さらに、そのデータがどの程度注目を集めているのかを示す情報として、拍手数に加えてアクセス数も可視化しました。

レファレンス協同データベース
Collaborative Reference Database

データを探す 検索 ヘルプ ログイン
> 事業について > 関係者の方へ > 参考情報

現在位置 トップページ > 検索結果一覧 > レファレンス事例詳細

レファレンス事例詳細

次のデータへ >

作成日時 2021年05月14日 登録日時 2021/05/14 08:53 更新日時 2021/05/20 10:50
種 国立国会図書館 (National Diet Library) [1110001] 管理番号 C2021口調0501

質問 我が国の近代教育は明治6(1873)年に学制が施行されたことから始まったとのことだが、翌年の明治7(1874)年の小学校の一覧はあるか。

回答 明治7(1874)年の小学校の一覧について資料1を紹介します。
インターネットの最終アクセス日は2021年4月20日です。
【 】内は当館の請求記号です。
末尾に「*」が付された資料は、国立国会図書館デジタルコレクションに収録されており、インターネット上で公開しています。

資料1
日本国文部省年報 第2 (明治7年) 文部省, 明8-大3 [258.2-1]* (<https://dl.ndl.go.jp/info:ndl.jp/pid/809144>)
文部省の年報です。参考によって異なりますが、文部省直轄、道府県立、公立私立の小学校、中学校、高等学校、女学校、大学、専門学校、実業学校、師範学校、外国語学校などの一覧が掲載されています。
明治7年版では、pp.15-781 (257-640コマ)に、小学校について、公立小学校、私立小学校にわけて学校名、学科、所在地、設立年、教員数(男女)、生徒数(男女)、主者が府県ごとに記載されています。また、公立については毎月の授業料、扶助金配当高が記載されています。

国立国会図書館提供調べページ「リサーチナビ」内の調べ方案内でも、戦前の学校の名簿の調べ方を紹介していますので、あわせてご覧ください。
・[アーカイブ] 戦前の学校の名簿 (https://mavi.ndl.go.jp/research_guide/entry/post-271.php)
※この記事は2017年3月31日で更新を停止しています。

解決

転記用URL https://crd.ndl.go.jp/reference/detail?page=ref_view&id=1000298262

4606 39

次のデータへ >

◀ 検索結果一覧へ戻る

質問、回答を目立つようにしました。

図5 データ詳細画面

以前から表示していた拍手数(※)に加えて、当該データのアクセス数を表示するようにしました。
※「拍手」アイコンはボタンになっています。面白い、参考になった、などと感じたデータがありましたら、是非押してみてください。

データの共有に活用できる転記用URLと各種SNS連携ボタン(※)をデータ下部にまとめて配置しました。
※以前からあったX(旧Twitter)、Facebook、はてなブックマークに加えて、LINEとメールの連携ボタンを新たに追加しました。

データ詳細画面で様々な表現が可能に

個々のデータの詳細画面では、従来は対応していなかった見出しや箇条書きなど様々な表現を可能としました。これにより、言葉だけでは説明が難しい複雑な情報が表を用いて整理して表示できるようになるなど、より分かりやすいデータが増えていきます（図6）。

調べ方マニュアル詳細

調べ方作成日 登録日時 2023/08/25 19:49 更新日時 2023/06/16 16:05
 提供館 国立国会図書館 (National Diet Library) (1110001) 管理番号 ndls-rnavi-kansai-kan-post_100044

完成

調査テーマ 国内博士論文

調べ方 ここでは、国内の大学又は独立行政法人大学評価・学位授与機構（以下、「学位授与大学等」）が授与した博士の学位に係る論文（以下、「博士論文」）の調べ方をご紹介します。（【 】内は当館請求記号です。請求記号を記載していないものは、版によって請求記号が異なります。国立国会図書館サーチでお調べください。）

1. 国内博士論文の所蔵状況等

国内の博士論文は、国立国会図書館のほか、学位を授与した大学の図書館等に所蔵されています。なお、平成25
中略

2. 検索方法

2-1. 博士論文の検索ツール

印刷物、電子形態いずれの博士論文も、国立国会図書館サーチで検索できます。国立国会図書館デジタルコレクションでは、電子形態の博士論文を検索することができます。また、国立国会図書館をはじめ、国内の各機関の情報を統合的に検索できる国立国会図書館サーチでも検索することができます。

表：国立国会図書館所蔵の博士論文の検索と閲覧の概要

学位授与年等、 年代の目安	検索	閲覧	閲覧媒体		
			国立国会図書館 サーチ	インターネット 公開	
1923～1986	○	×	○	印刷物	×
1987(一部)～ 2000※1	○	○	○	電子形態	一部(約2万点)
2001～2013.3	○	×	○	印刷物	×
2013.4～	○	△※2	○	原則電子形態	一部○

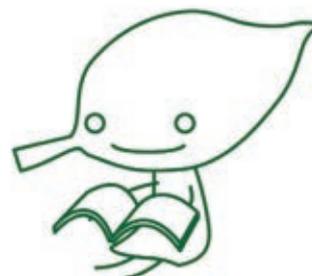
※1 当館受入年度
 ※2 やむを得ない事由により印刷物でのみ所蔵している場合は、国立国会図書館デジタルコレクションでの検索はできません。

2.2 国立国会図書館サーチで検索するには

見出しや箇条書き表示が可能となりました。

表で表現できるようになりました。

図6 見出しや表が使用されたデータの一例



リサーチ・ナビとのデータ連携

今回のリニューアルでは、調べものに役立つ情報を紹介する、国立国会図書館の調べ方案内サービス「リサーチ・ナビ」との連携機能が新たに追加され、リサーチ・ナビの多数のデータがレファレンス協同データベースに新たに登録されています（図 7、8）。これにより、全国の図書館等が登録した調べ方マニュアルや特別コレクションのデータに加えて、国立国会図書館が作成した、様々なテーマについて調査のポイントをまとめた記事や特色ある資料群の情報なども、合わせて検索・閲覧できるようになりました。

The screenshot shows the 'レファレンス協同データベース' (Collaborative Reference Database) interface. The search results page is titled '調べ方マニュアル詳細' (Manual Details). The search criteria are: 調べ方作成日: 2023/08/25 19:52, 登録日時: 2023/08/25 19:52, 更新日時: 2023/12/11 17:05, 提供館: 国立国会図書館 (National Diet Library) (1110001), 管理番号: ndls-rnavi-business-post_102124. The search term is '金融に関する統計' (Statistics related to finance). The search results section is titled '1. 公的統計' (1. Public Statistics) and contains text about the reliability of statistics from government and local public bodies.

調査テーマ	金融に関する統計	完成
調べ方	<p>金融に関する統計を調べるための資料には、以下のようなものがあります。</p> <p>【 】内は当館請求記号です。請求記号が記載されていないものは、版によって請求記号が異なります。国立国会図書館サーチでタイトルを入力して検索してください。</p> <p>「資料名」(書誌情報)の後ろに*が付いている資料は、国立国会図書館サーチの書誌詳細画面に目次があります。</p> <p>1. 公的統計</p> <p>国の機関や地方公共団体などが作成する統計のことを公的統計といいます。大規模な調査が多く、客観性・信頼性が高いことが特徴です。調査結果の多くは、それぞれの府省庁や地方公共団体などのホームページで公開されています。</p>	

図 7 リサーチ・ナビから連携された調べ方マニュアルデータ

The screenshot shows the 'レファレンス協同データベース' (Collaborative Reference Database) interface. The search results page is titled '特別コレクション詳細' (Special Collection Details). The search criteria are: 登録日時: 2023/08/25 19:49, 更新日時: 2023/11/06 16:30, 提供館: 国立国会図書館 (National Diet Library) (1110001), 管理番号: ndls-rnavi-avmaterials-post_101078. The search term is '蘆原英了コレクション' (Ruhara Eizō Collection). The search results section is titled '1. 概要' (1. Overview) and contains text about the collection of materials related to the researcher and critic Eizō Ruhara.

コレクション名	蘆原英了コレクション	
コレクション名ヨミ		
内容	<p>書誌事項末尾の【 】内は当館請求記号です。</p> <p>1. 概要</p> <p>バレエや音楽の研究者、評論家として知られた蘆原英了(1907-1981)が収集した、バレエ、シャンソン、演劇、サーカスなどに関する資料のコレクションです。</p> <p>洋書約5,400冊、楽譜約5,200点、レコード約9,300枚をはじめ、各種公演プログラムやポスター、絵巻、自筆ノートを含む多様な資料から構成されています。</p> <p>東京本館音楽・映像資料室で提供しています。</p>	

図 8 リサーチ・ナビから連携された特別コレクションデータ

これからもご活用ください！

レファレンス協同データベースでは葉っぱのデザインをあしらっています。また、イメージキャラクターの「れはっち」は、葉っぱをモチーフとしたキャラクターです。これは、レファレンス協同データベースに登録されるひとつひとつのデータを葉っぱに見立て、レファレンスサービスの豊かな森を作りたい！ そのような願いが込められているものです。

参加館のご協力の下、日々データが増え、成長する、変化のあるサイトです。ぜひアクセスしていただき、気になるキーワードで検索してみてください。もしかしたら、あなたの疑問を解決するデータが見つかるかもしれません。

これからもレファレンス協同データベースをご活用いただき、調べものやレファレンスサービスに役立てていただけたら幸いです。

SNSでも毎日情報発信しています

レファレンス協同データベースで公開されたデータを、レファレンス協同データベースの公式X（旧 Twitter）アカウントでも紹介しています。このアカウントのフォロワー数は現在、6万2000を超え、図書館関係者ではない一般の方にもレファレンス協同データベースを知っていただくきっかけになっています。知的好奇心をくすぐるような興味深いレファレンス事例を毎日配信していますので、ぜひフォローしてみてください。



レファレンス協同データベース公式X



レファレンス協同データベース
<https://crd.ndl.go.jp>



最近の国際政策セミナー報告書
右端が2023年9月に刊行された「格差、分配、経済成長」

国際政策セミナーを ぎゅっと一冊に



入館1年目の4月に配属された調査企画課連携協力室での最初の業務は、その年の3月に開催され、一般にも公開された国際政策セミナー「格差、分配、経済成長」の報告書を刊行することでした。入館前に開催されたこのセミナーには参加しておらず、テーマも私にとっては馴染みが薄い経済学。ちよっぴり不安を抱えながら、仕事に取りかかりました。

報告書はどのようにして出来るのでしょうか？ まず、基調講演やパネルディスカッションといったセミナーの内容を文字に起こさなければなりません。また、この内容には専門用語が多く含まれるため、専門知識を持つ調査及び立法考査局の調査員が丁寧に確認して、必要に応じて用語の解説を参考資料に付します。掲載するスライド資料の著作権の確認も、改めて入念に行います。報告書の大枠が定まってくると、今度は校正作業のスタートです。多くの人の目で、何度も何度も原稿を確認します。「さまざま」と「様々」が混在している！」等々、修正すべき点が次々と発見されていきます。

並行して、報告書の印刷を担当してくれる印刷

業者とのやり取りも進めます。印刷業者から、報告書の顔となる表紙の案が届いたときには、関係職員全員が興味津々で覗き込みます。「A案はタイトルが目立って良いね」「B案はスタイリッシュでかっこいい」と甲乙つけがたい様子。表紙の他にも、ページ割りから文字のフォントに至るまで、何度も校正と確認を重ねて報告書を仕上げていきます。

さて、参加していないセミナーの報告書をまとめるという業務に最初は身構えていた私ですが、刊行までの作業の過程で報告書の原稿を繰り返し読むうちに、「経済学の専門用語は難しいけど、用語の解説を参考にすると内容が分かってきた」「未来を予想する部分はSFみたいでワクワクする！」とセミナーの内容の面白さに気づきました。文字起こしを読んで実際のセミナーの臨場感を味わいながら、深い学びを得ることができる——完成した報告書が、セミナーに参加していただいた方にも、そうでない方にも、有意義なものになっていけば嬉しいです。

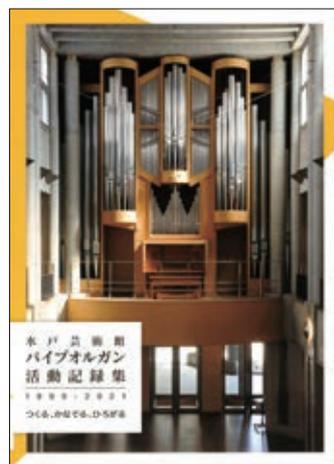
(調査企画課連携協力室 玄米茶)

国際政策セミナー報告書は、当館ホームページからご利用いただけます。
<https://www.ndl.go.jp/jp/diet/publication/document/index.html>

本屋に

ない

本



水戸芸術館パイプオルガン
活動記録集 1990-2021
つくる、かなでる、ひろがる

鴻巣俊博・高巢真樹 編
公益財団法人水戸市芸術振興財団 刊
2022.1
63 p ; 26 cm
<請求記号 KD261-M4>

水戸芸術館の扉を開けると、正面にパイプオルガンがそびえている。その音はコンサートホールで聴くよりもずっと近く、その場にいる者に降り注ぐように響き渡る。

本書は、1990年の開館当初より水戸芸術館のエントランスホールに設置されたパイプオルガンに関する30年間の記録集である。「つくる」「かなでる」「ひろがる」の3章で構成され、さまざまな視点からパイプオルガンについて語られている。

「つくる」の章では、国内のオルガン工房マナオルゲルバウでパイプオルガンの制作にあたった親方2名へのインタビューが紹介されている。国産最大級である水戸芸術館のパイプオルガ

ンについて、制作当時の苦労やこだわりが語られている。東日本大震災でパイプオルガンが破損した際にはマナオルゲルバウが自ら修復作業を手がけ、修復後に開催された復活記念コンサートには約1800人が集った。エントランスホールの2階まで聴衆に埋め尽くされた当時の写真からは、パイプオルガンの音色が多くの人々に待ち望まれていたことがわかる。

「かなでる」の章では、水戸芸術館のパイプオルガンを演奏した国内外のオルガニストからのメッセージが掲載されている。学生時代に同館のピロムナードコンサートで演奏したオルガニストからは閉館後に一晩中練習させてもらった経験への感謝の声が多く、開

館当時から開催されているピロムナードコンサートが演奏家育成の場としても機能していることがうかがえる。

「ひろがる」の章では、水戸芸術館を利用する人々とパイプオルガンの関わりについて紹介される。水戸芸術館では長年にわたり、定期的なレッスンと発表の場が用意される。「市民のためのオルガン講座」や、未就学児がオルガンに触れることのできる「幼児のためのパイプオルガン見学会」など、一般の人々がパイプオルガンに親しむ機会が設けられている。「水戸芸術館のパイプオルガンと私」市民の皆さんからのエッセイ集」の節では、コンサートや体験企画に参加した人々が水戸芸術館のパイプオルガンへの思いを綴つ

ている。

パイプオルガンはコンサートホールや大きな教会に設置されることが多く、荘厳で神聖な楽器というイメージを抱かれやすい。しかし水戸芸術館のパイプオルガンに関わる方々の文章からは、パイプオルガンが身近に愛される存在になってほしいという願いが感じられる。その思いが30年にわたって受け継がれてきた結果、水戸芸術館のパイプオルガンは音楽を愛する人たちの集う場になっている。一つの楽器について多面的に語られた本書からは、水戸芸術館での豊かな音楽の営みが感じられた。

(山田 春菜)

※本書は水戸芸術館のホームページで閲覧が可能です。

国立国会図書館は、法律によって定められた納本制度により、日本国内の出版物を広く収集しています。このコーナーでは、主として取次店を通さない国内出版物を取り上げて、ご紹介します。

新館長就任

吉永元館長が令和6年3月31日付けで退任し、令和6年4月1日付けで倉田敬子が18代目の国立国会図書館長に就任しました。倉田館長は、平成13年から令和6年まで慶應義塾大学文学部教授（令和3年から令和5年まで文学部長）、令和6年4月から同大学名誉教授。昭和33（1958）年生まれ。



倉田敬子館長

調査及び立法考査局が令和5年度に行った調査プロジェクトの成果として、報告書を刊行しました

【総合調査】

『ロシアによるウクライナ侵略をめぐる諸問題』（調査資料2023・3）

ロシアによるウクライナ侵略は、戦争ひいては武力の行使を禁止してきた国際的な法の支配を動揺させるだけでなく、世界全体の政治・経済・社会の多方面にわたって影響を与え、その長期化と深刻化が懸念されているところです。

こうした問題意識の下で、今年度の総合調査では、ロシアの武力攻撃が全面化するよりも前から生じてい

た諸問題、サイバー空間に拡大した新たな戦い方といった、武力攻撃を契機として改めて注目されるに至った課題について取り上げるとともに、金融制裁、エネルギー問題、食料安全保障及びロシア進出企業等の動向に焦点を当て、9つの論稿を収録しました。



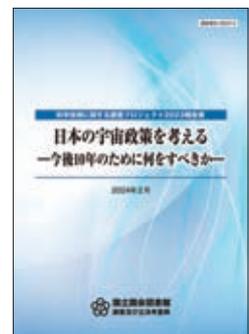
【科学技術に関する調査プロジェクト】

『日本の宇宙政策を考える—今後10年のために何をすべきか—』（調査資料2023・4）

本報告書は、令和5年9月22日にオンライン開催したシンポジウム「日本の宇宙政策を考える—今後10年のために何をすべきか—」の記録集です。令和5年6月に改定された「宇宙基本計画」や初めて決定された「宇宙安全保障構想」等を踏まえ、日本の今後10年の宇宙政策の最優先目標について、有識者による議論を通じて展望した内容をまとめました。橋本靖明氏、小笠原宏氏、佐伯和人氏、竹内悠氏、小塚莊一郎氏による報告、渡邊浩崇氏による問題提起に加えて、パネルディスカッションの記録及び渡邊浩崇氏による解説を掲載しています。

『デジタル時代の技術と社会』（調査資料2023・5）

デジタル技術の活用と浸透が社会の多方面で進み、私たちはその利便性を享受する一方で、デジタル化の進展によって、アナログの時代には直面することがなかった新たな課題が浮かび上がっています。また、デジタル技術の一層の活用のために、各種の制度や慣行の見直しが必要とされています。急速に開発・活用が進む生成AIの動向も見逃せません。本報告書では、議会におけるオンライン議事の動向、デジタル影響工作、インターネットの分断、地方自治体におけるAIの活用、米国の情報通信技術の研究開発政策、ネットいじめへの技術的対応と法的規制、オンライン診療、デジタルデータの相続、生成AIの倫理的・法的・社会的課題について、学識経験者の御助言、御指導を受けつつ、分析・整理を試みました。



NDL Topics

『マテリアル科学―最先端と未来への選択肢―』（調査資料2023・6）

マテリアルは現代の生活、産業の土台であり、マテリアル科学は我が国の国際競争力の源泉として力を発揮してきました。近年は、環境問題などに対応する高性能な材料開発が期待され、経済安全保障の確保、責任ある資源調達の観点からもマテリアル科学の重要性が強く認識されています。一方、国際的には我が国のマテリアル科学力の相対的な低下が指摘されています。本報告書は、マテリアル科学の現状を分析し、未来への選択肢を探るために、各国のマテリアル科学の振興策、最新動向、特に研究開発のデジタル・トランスフォーメーション、国際的視野から導かれる資源問題の留意点、ウェルビーイング向上を阻むマテリアルの性能劣化について、第一線の研究者が、文献調査、有識者ヒアリング、現地訪問などにより分析したものです。



これらの報告書を含め、国立国会図書館が国政審議の参考資料として作成した刊行物は、ホームページで全文を御覧になれます。是非、御活用ください。

○国立国会図書館ホームページ▽国会関連情報▽『調査資料』▽2024年刊行分
<https://www.ndl.go.jp/jp/diet/publication/document/2024/index.html>



新刊案内

外国の立法 立法情報・翻訳・解説 第299号

小特集…気候変動

イギリス…気候関連財務情報開示の義務付けに関する規則

オーストラリアの2022年気候変動法

アメリカ…同性婚に対する承認を保持するための連

邦法…婚姻尊重法の成立

フランス…2024年オリンピック・パラリンピックス競技大会の運営に関する法律



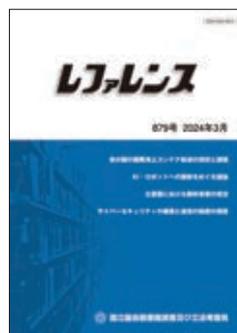
A4 90頁 季刊 1,980円 (税込)
ISBN 978-4-87582-926-3
発売 日本図書館協会

レファレンス 879号

我が国の国際海上コンテナ輸送の現状と課題
AI・ロボットへの課税をめぐる議論

主要国における郵政事業の現況―郵便局ネットワークと国からの支援に着目して―

サイバーセキュリティの確保と通信の秘密の保護―この20年の議論と能動的サイバー防御導入等に向けた課題―



A4 115頁 月刊 1,100円 (税込)
発売 日本図書館協会

入手のお問い合わせ

日本図書館協会

〒104-0033 東京都中央区新川1-11-14
電話 03(3523)0812

NDL Topics

おもな人事

〈退職〉

令和6年3月31日付け

専門調査員 調査及び立法考査局行政法務調査室主任

塩田 智明

専門調査員 調査及び立法考査局財政金融調査室主任

深澤 映司

専門調査員 調査及び立法考査局文教科科学技術調査室主任

森田 倫子

司書監 収集書誌部付、外国資料課長兼務

川鍋 道子

調査及び立法考査局次長

紫藤 美子

〈異動〉※（ ）内は前職

令和6年3月1日付け

総務部長（総務部長、利用者サービス部長兼務）

木藤 淳子

利用者サービス部長（電子情報部長）

大場 利康

電子情報部長（関西館長）

伊藤 克尚

関西館次長、関西館長事務代理（関西館次長）

野口 貴弘

令和6年4月1日付け

専門調査員 調査及び立法考査局財政金融調査室主任

樋口 修

専門調査員 調査及び立法考査局農林環境調査室主任

ローラー ミカ

専門調査員 調査及び立法考査局海外立法情報調査室主任

三浦 良文

専門調査員 調査及び立法考査局総合調査室付（専門調査員 調査及び立法考査局議会委員庁資料調査室主任）

塚田 洋

専門調査員 調査及び立法考査局農林環境調査室主任

小澤 隆

専門調査員 調査及び立法考査局総合調査室付（専門調査員 調査及び立法考査局海外立法情報調査室付（主幹 調査及び立法考査局海外立法情報調査室付））

内海 和美

専門調査員 調査及び立法考査局海外立法情報調査室主任（主幹 調査及び立法考査局政治議会調査室付、政治議会課長事務取扱）

南 亮一

専門調査員 調査及び立法考査局行政法務調査室主任（衆議院法制局法案審査部長）

石原 隆史

関西館長（司書監 総務部付）

諏訪 康子

国際子ども図書館長（収集書誌部副部長、収集・書誌調整課長事務取扱）

上保 佳穂

総務部副部長、支部図書館・協力課長事務取扱（利用者サービス部副部長、サービス企画課長事務取扱）

立松 真希子

調査及び立法考査局次長（司書監 総務部付、関西館文献提供課長兼務）

本多 真紀子

司書監 収集書誌部付（司書監 利用者サービス部付）

倉橋 哲朗

利用者サービス部副部長（関西館次長、関西館長事務代理）

野口 貴弘

司書監 総務部付（電子情報部電子情報流通課長）

大島 康作

司書監 総務部付、関西館総務課長兼務（関西館総務課長）

辰巳 公一

主幹 調査及び立法考査局総合調査室付 調査及び立法考査局文教科科学技術課長

河合 美穂

主幹 調査及び立法考査局外交防衛調査室付、外交防衛課長事務取扱（調査及び立法考査局外交防衛課長）

樋山 千冬

主幹 調査及び立法考査局社会労働調査室付（調査及び立法考査局社会労働課長）

恩田 裕之

司書監 利用者サービス部付、サービス企画課長兼務（調査及び立法考査局調査企画課長）

小熊 美幸

関西館次長（国際子ども図書館企画協力課長）

堀内 夏紀

5

NATIONAL
DIET
LIBRARY
MONTHLY
BULLETIN
2024.5

NO.757

MAY
2024

CONTENTS

- 01 <Book of the month - from NDL collections>
Do not break promises to your children: *Kodomo no shitsukekata hiketsu 100kajo*
- 05 “Hints and examples” for research
- 06 Research Navi
- 16 Collaborative Reference Database
- 24 <Tidbits of information on NDL>
Making a report on International Policy Seminars
- 25 <Books not commercially available>
Mito geijutsukan paipu orugan katsudo kirokushu: 1990 - 2021: Tsukuru, kanaderu, hirogaru
- 26 <NDL Topics>

国立国会図書館月報

令和6年5月号 (No.757)

令和6年5月1日発行

発行所 国立国会図書館
編集者 川西晶大
責任者

印刷所 株式会社丸井工文社

〒100-8924 東京都千代田区永田町1-10-1
電話 03 (3581) 2331 (代表)
FAX 03 (3597) 5617
E-mail geppo@ndl.go.jp
<https://www.ndl.go.jp/>

本誌に掲載した論文等のうち意見にわたる部分は、それぞれ筆者の個人的見解であることをお断りいたします。
本誌に掲載された記事を転載する場合（全文または長文にわたり抜粋する場合、または図版を転載する場合）には、
事前に当館総務部総務課にご連絡ください。
本誌517号以降、PDF版を当館ホームページ（<https://www.ndl.go.jp/>）>刊行物>国立国会図書館月報でご覧いただけます。



NATIONAL
D I E T
LIBRARY
MONTHLY
BULLETIN
2 0 2 4 . 5

 国立国会図書館
National Diet Library, Japan

図

国

国

書

人

士